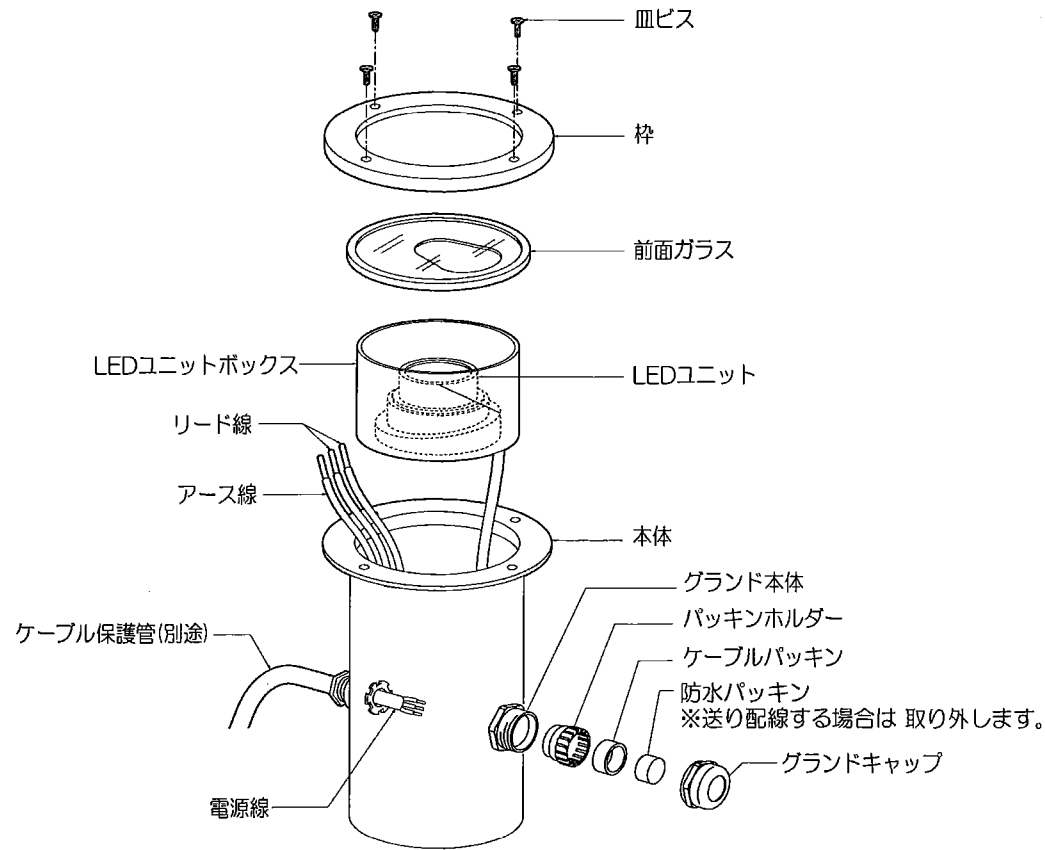


### ◆各部の名称

この図は一部省略抽象した共通部品図です



### ◆仕様

区分	型番	ランプ色	配光	定格電圧	周波数	入力電圧	入力電流	消費電力
Rs7	ERL8033HA	ナチュラルホワイトタイプ	狭角	AC100V-242V	50Hz/60Hz	100V	131mA	12.9W
	ERL8034HB	電球色タイプ(3000K)				200V	74mA	12.9W
	ERL8035HA	ナチュラルホワイトタイプ	広角			242V	71mA	13.0W
	ERL8036HB	電球色タイプ(3000K)						

△ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

### ◆適合LEDモジュール

区分	型番	ランプ色	配光
Rs7	RM07S8030NN1-80NHP1	電球色タイプ(3000K)	狭角
	RM07S8030W1-80NHP1		広角
	RM07S840NN1-80NHP1	ナチュラルホワイトタイプ	狭角
	RM07S840W1-80NHP1		広角

△ LEDモジュール交換の時は、必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

### ◆LED光源について

LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバラツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。

■清掃方法について △注意 必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

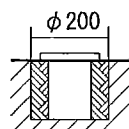
- 中性洗剤をつけ、よく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなど揮発性のもの拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

●電源工が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買上げの販売店か、最寄営業所へお問合せください。

### ◆取付寸法

(詳細については仕様図を参照願います)



1. 設置場所は必ず排水処理を行ってください。
2. 設置場所を決めて図のような埋込穴を施工してください。

### ◆電源線の種類

- 電源線は2RNCT又は2PNCTのキャブタイヤケーブル(3芯)のφ12~φ15を用いてください。

△ 感電や発熱による火災の原因となります。

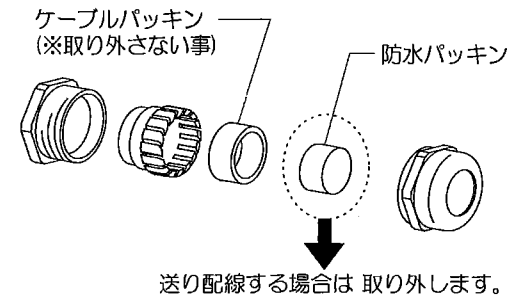
### ◆取付方法

1. 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

△ 感電の原因となります。

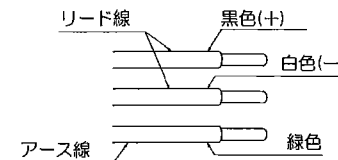
2. 電源線に、グランドキャップ・ケーブルパッキンを通してグランド本体に差し込んでください。(電源線の種類は、「◆電源線の種類」の項を参照してください。)

送り配線する場合は、ケーブルパッキンにはめ込んでいる防水パッキンを取り外してケーブルを通してください。



送り配線する場合は 取り外します。

3. 電源線をリード線に接続してください。電源線の接続部は自己融着テープなどで確実に防水・絶縁処理を行ってください。同時にD種設置工事を行ってください。



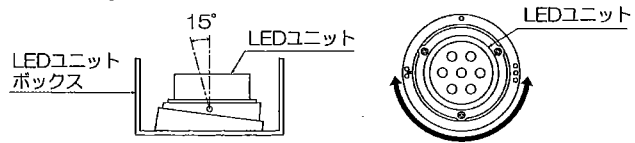
△ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

△ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

4. 工具を使用してグランドキャップをしっかりと締めこんでください。その後保護管をかぶせてください。

△ 締め付けが不完全ですと漏電・器具故障の原因となります。

5. LEDをユニットを回転させ、照射角度を調節してください。照射方向を決めてLEDユニットボックスを本体にはめ込んでください。



6. 前面ガラス・枠の順番で本体にセットし、皿ビス(4本)で均一になるようにしっかりと締め付けてください。

△ 締め付けが不完全ですと漏電・器具故障の原因となります。

7. 本体を土で埋めてください。コンクリートなどで埋めないでください。※埋込の際は、照射面とグランド本体が水平になるようにしてください。

### ◆施工に関する注意

- この器具は一般屋外用(防雨型)器具です。振動や衝撃の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、海岸隣接地帯では使用しないでください。
- 人や車の通る場所、振動や加重のかかる場所には使用しないでください。

△ 怪我・ランプ短寿命の原因となります。

- 地面が土以外の場所には、取付けないでください。
- 設置場所は必ず排水処理を行ってください。

- 水はけの悪い場所、くぼ地などの水のたまる場所には設置しないでください。

△ 漏電・感電の原因となります。

- 草などが成長することも考えて器具が覆われるような場所には設置しないでください。

- 器具上面が枯れ葉などで覆われることのないようにしてください。

△ 火災の原因となります。

- LEDは周囲環境によっては、充分な照度確保は困難です。パイロットランプを内蔵したスイッチとの組み合わせでは、LEDが完全に消灯しない場合があります。

- ◆「この製品は特性上点灯するまでに約3秒かかります。また、消灯後残光がありますが異常ではありません。」

### ◆LEDモジュールの交換方法

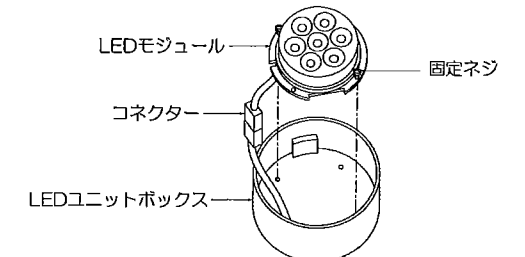
1. 安全確保の為、電源ブレーカー及び、電源スイッチを遮断してください。

△ 感電の原因となります。

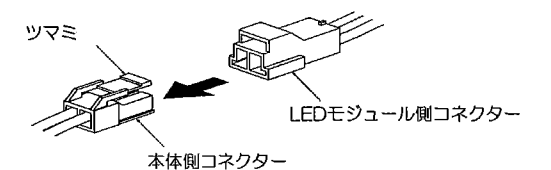
△ 点灯中や消灯直後(消灯後20分まで)は高温になりますので、LEDモジュール交換はしないでください。やけどの原因になります。

2. 皿ビス(4本)をゆるめて枠、前面ガラスの順番で本体から取りはずしてください。

3. 固定ネジ(2本)をゆるめて、LEDモジュールをLEDユニットボックスから取りはずしてください。



4. ツマミを押しながら本体側コネクタをLEDモジュール側コネクタから引き抜いてください。



5. 新しいLEDモジュール側コネクタに本体側コネクタを確実に差し込み接続してください。

6. コネクタをLEDユニットボックスに収納し、LEDモジュールを固定ネジ(2本)でコードを挟まないよう十分注意して確実に取付けてください。

7. 取付方法6を参照して前面ガラスと枠を取付けてください。